

## Japanese Level 3 Required Poem

「さくら」 まど みちお

さくらの つぼみが  
ふくらんできた

と 思っているうちに  
もう まんかいになっている  
きれいだなあ  
きれいだなあ

と 思っているうちに  
もう ちりつくしてしまう  
毎年のことだけれど  
また 思う  
一度でもいい

ほめてあげられたらなあ…と

さくらの 言葉で  
さくらに そのまんかいを…

## Japanese Level 3 Alternate Poems

さんちょう 山頂から      おの と さぶろう 小野十三郎  
山にのぼると  
海は天<sup>てん</sup>まであがってくる  
なだれ<sup>お</sup>落ちるような若葉<sup>わかば</sup>みどりの中  
下のほうでしずかに  
かっこう<sup>な</sup>が鳴いている  
風<sup>ふ</sup>に吹かれて高いところに立つと  
だれでもしぜん<sup>よ</sup>に世の広さ<sup>かんが</sup>を 考える  
ぼくは手を口にあてて  
なにか下のほう<sup>む</sup>に向かって叫<sup>さけ</sup>びたくなる  
五月の山は  
ぎらぎらと明るくまぶしい

きみは山頂よりも上に  
青い大きな弧<sup>こ</sup>をえがく  
水平線<sup>すいへいせん</sup>を見たことがあるか。

白い馬 高田としこ

波<sup>なみ</sup>のうしろをはしる波. . . . .  
波のまえをはしる波. . . . .  
海には 白い馬<sup>うま</sup>が群<sup>む</sup>れている

はる  
春の朝

白い馬は 陸<sup>りく</sup>に駆け上<sup>か</sup>がり  
少年<sup>しょうねん</sup>たちの姿<sup>すがた</sup>になって はしりはしりつづける

やがて

その若い光の<sup>れつ</sup>一列が  
岬<sup>みさき</sup>のほうへ まがってゆく